

「臨床美術」の普及と地域に貢献する「臨床美術士」の育成を推進しています。

「臨床美術」とは

独自のアートカリキュラムにそって創作活動することにより脳機能が活性化し、認知症の症状が改善されることを目的として開発されました。臨床美術士が一人ひとりの参加者にそった働きかけをすることで、その人の意欲と潜在能力を引き出していきます。



1996年 医者・美術家・ファミリーケアアドバイザーがチームとなって実践研究をスタートさせました。医療・美術・福祉の壁を越えたアプローチが特徴で、アートセラピーの先進国でも例を見ない先駆的な取り組みと言えます。

認知症の症状改善を目標として始めましたが、
現在では

- 介護予防事業など認知症の予防
- 子どもの創造性の育成、発達の朗長
- 社会人向けのメンタルヘルスケア

など多方面で取り入れられ、いきいきと人生を送りたいという願いに希望をもたらしています。

富山福祉短期大学は、北陸の大学で唯一、日本臨床美術協会の指定校です。

臨床美術の主な効果

1. 描くこと、つくることが、楽しく身近になります。
2. 家族間のコミュニケーションが活発になります。
3. クリエイティブな発想が育ちます。
4. 日常生活が豊かになります。
5. 脳の活性化により生きる意欲が増加します。

臨床美術による作品例



テーマ:線と色の抽象画

臨床美術を初めて体験してもらうときに適したアートプログラムです。最初は、試し描きの気軽さで線を描いていきます。ただの線に自分だけの表情を発見しながら描きすすめていくうちに、おもしろい形や深みのある色彩が生まれてきます。最終的には自分でも予想もつかない抽象画ができあがります。



テーマ:土偶

祈りを起源とした最も原始的な造形である土偶作りの魅力を体験してみましょう。

石と粘土の素材感を楽しみながら、握るという単純な行為によって生まれた形から人体を発見し、大胆にデフォルメしてつくってみます。

※デフォルメ:絵画や彫刻などで対象を変形させて表現すること



テーマ::茄子を量感画で描く

絵に対して苦手意識を持っている方は思いのほか多いのです。そっくりに描くことがうまいと思いつき、そのため「私は下手だから」といってなかなか描こうとしません。そのような絵に対する既成概念を取り

払うために、量感画はとても有効な方法です。視覚以外の味覚、嗅覚、触覚、聴覚といった感覚も総動員して描きます。中身から描くという新しい描き方が体験できます。

臨床美術士の養成

臨床美術士とは

2002年より日本臨床美術協会が、専門的な訓練を受けた合格者を「臨床美術士(クリニカル・アーティスト)」として資格認定し、その水準の維持に努めています。臨床美術士とは誰もが苦手意識を持つことがないように工夫されたアートプログラムを通して参加者の感性を引き出し、生きる意欲の創出までつなげていく専門家です。臨床美術士の資格には、経験や習得度により5～1級までの段階があります。



地域づくりかえ講座「臨床美術士 5級・4級取得講座」



臨床美術士 5級取得コース

「臨床美術」の基礎を短時間で学ぶ入門コース。「美術が苦手」という方も意識が大きく変わります。基本画材となる「オイルパステル」を使ったアートプログラムを実践できる力が身に付きます。臨床美術士 5級取得コースは、福祉関連、医療関連、教育関連の資格をお持ちの方や関連施設や学校、保育所などで働いている方、地域で子どもや高齢者へのボランティア活動をしたいとお考えの方の実践に役立ちます。美術経験の有無を問いません。

90分×1日4コマを5日間、土・日に開催します。全ての開講日に出席いただく通学コースです。1ヵ月～1.5ヶ月の期間となります。

臨床美術士 4級取得コース

5級を取得した方を対象に、臨床美術士として活躍するために、スキルアップを目指すコース。知識と技能を深め、現場で継続的に「臨床美術」を実践していく力を身につけます。実技では、オイルパステル、水彩、アクリルなどによる幅広い表現方法を学びます。また、高齢者や子どもを対象にした現場実習を行うなど実践的な内容が含まれます。

90分×1日4コマを7日間、土・日に開催します。全ての開講日に出席いただく通学コースです。1.5ヵ月～2ヶ月の期間となります。

※今後の開講予定詳細は、お問い合わせください。

正規授業で資格が取得できます！

富山福祉短期大学では、社会福祉学科の正規のカリキュラムにおいて臨床美術士 5級～4級が取得できる正規のカリキュラムを導入しました。新たに学び、社会に貢献したいと考える方々にとっての学びの場となることを願っています。育児のあいだに学ぶお母さん方、会社を退職したので心機一転学ぶアクトビシニアの方々、自分自身のいきいきとした学びを通して社会貢献する未来をひらいてください。



【臨床美術】科目等履修生

毎日、学生として学ぶことができない方々に「臨床美術」を学んでいただけるように、科目等履修制度の対象科目としました。週1回3時間程度、昼間通学することで「臨床美術」を学び資格を取得することができます。

臨床美術の関連科目は、1年後期(臨床美術士5級)、2年前期・後期(臨床美術士4級)と3期に渡り履修します。5級科目だけを履修することも可能です。

※学費・出願についてはお問い合わせください。

臨床美術の広がり



各自治体で

▼高岡市・射水市の地域包括支援センター16施設において、平成25年度から認知症予防のプログラムに臨床美術を取り入れていただいております。今年度も各センターにおいて年間5回の臨床美術講座を実施しています。また南砺市とも連携した活動を展開しています。このような取り組みが、認知症予防等地域課題に応えることができる取り組みとなっていくことが期待されます。

とやま臨床美術の会では



とやま臨床美術の会は、日本臨床美術協会が公認する登録団体として、地域における臨床美術の普及および会員相互の連絡・親睦を図り、会員の自主活動および情報交換、臨床美術士としての研究、学習に資することを目的としています。

《活動》

- (1) 臨床美術に関する会員相互の情報交換、活動協力の促進
- (2) 試作会の企画・運営
- (3) 富山福祉短期大学共創福祉センターが連携する臨床美術事業への協力
- (4) 臨床美術士交流会全国大会・臨床美術学会への参加・協力
- (5) 臨床美術の普及・実践
- (6) その他目的を達成するために必要と認められる活動

とやま臨床美術の会HP……<http://toyama-art.org/>

お問い合わせ先

富山福祉短期大学 共創福祉センター

TEL 0766-55-1400

FAX 0766-55-5570